

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年12月10日まで（2015年3月30日設定）	
運用方針	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の香港現地法人であるMitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedから投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# アセアン真成長株式ファンド （ラップ向け）

第7期（決算日：2018年6月11日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）」は、去る6月11日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	（分配落）	税込分配	み期騰落中率	MSCI AC ASEAN Index （円換算ベース）	期騰落中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期(2016年6月10日)	7,955	0	△ 3.0	75,652.23	△ 4.7	95.6	—	226
4期(2016年12月12日)	8,318	0	4.6	79,757.44	5.4	96.9	—	234
5期(2017年6月12日)	8,686	0	4.4	84,938.83	6.5	96.7	—	23
6期(2017年12月11日)	10,056	0	15.8	93,813.53	10.4	95.9	—	25
7期(2018年6月11日)	9,611	0	△ 4.4	90,129.77	△ 3.9	96.2	—	17

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2017年12月11日	円	%		%	%	%
	10,056	—	93,813.53	—	95.9	—
12月末	10,263	2.1	96,115.54	2.5	93.8	—
2018年1月末	10,506	4.5	98,426.66	4.9	97.3	—
2月末	10,461	4.0	96,482.68	2.8	94.9	—
3月末	9,905	△1.5	91,976.22	△2.0	94.5	—
4月末	9,952	△1.0	93,809.18	△0.0	94.4	—
5月末	9,459	△5.9	88,727.46	△5.4	95.0	—
(期 末) 2018年6月11日	9,611	△4.4	90,129.77	△3.9	96.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

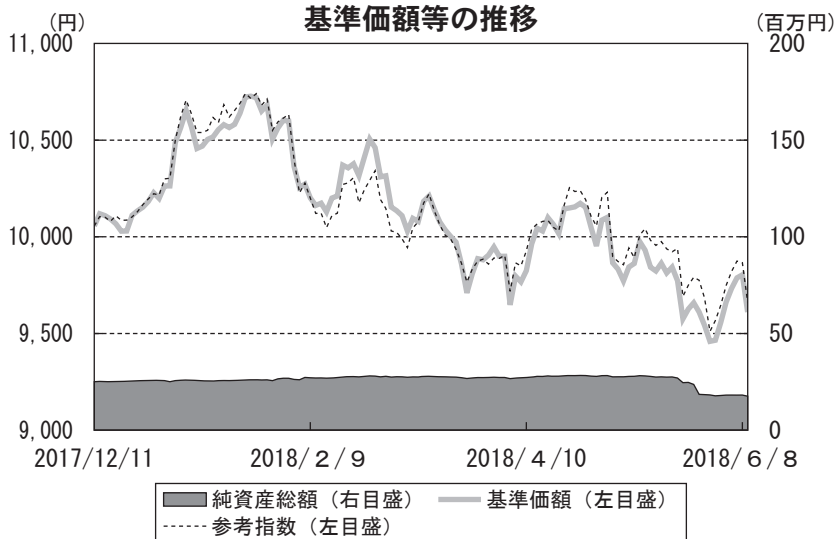
## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

（第7期：2017/12/12～2018/6/11）

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.4%の下落となりました。



第7期首：10,056円  
 第7期末：9,611円  
 (既払分配金 0円)  
 騰落率：-4.4%

- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

## 下落要因

マレーシアやタイなどの組入銘柄の株価が下落したことや、アセアンの通貨が対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

（第7期：2017/12/12～2018/6/11）

### ◎アセアン株式市況

- ・アセアン株式市場（ローカルベース）は期を通してみるとほぼ横ばいとなりました。期首から2018年1月下旬までは、米国や中国経済に対する楽観的な見方を背景に、アセアン株式市場は上昇しました。しかし、2月以降は、米金利上昇の加速が懸念されたことや、米国による鉄鋼・アルミニウムの輸入制限方針表明を受けた米中間の保護主義的な貿易政策が嫌気されたことなどを背景に投資家心理が悪化し、アセアン株式市場は軟調に推移しました。
- ・国別では、フィリピンとインドネシアの下落が大きくなりました。両国とも企業業績が伸び悩む懸念が高まったことに加え、経常赤字であることを背景に海外投資資金の流出が続いたため軟調な推移となりました。
- ・アセアンの通貨は、対円で下落しました。特に経常赤字国であるインドネシアルピアとフィリピンペソは円に対する下落が大きくなりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）>

- ・アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を通じてアセアン諸国の株式に投資しました。

### <アセアン真成長株式マザーファンド>

基準価額は期首に比べ3.8%の下落となりました。

- ・アセアン地域に関しては、人口動態や所得増加を背景に、構造的な個人消費の成長やインフラ投資の増加が期待される中、中長期的な業績成長性を重視した銘柄選定を行いました。また、個別銘柄の組入比率は業績成長の確信度も考慮し決定しました。
- ・組入銘柄数は、概ね50銘柄程度で推移させました。期中に、業績減速懸念が高まった銘柄を売却し、業績の改善および拡大が期待できる銘柄への入替を実施しました。
- ・個別に銘柄をみると、インドネシアやタイ、フィリピンにおいて内需拡大の恩恵を受けられる消費関連銘柄に重点的に投資を行いました。特にフィリピンの外食企業であるJOLLIBEE FOODS CORPは、安定的な需要拡大を背景に出店による持続的な成長が期待できると判断し、期首より高め組入比率を維持しました。
- ・上記投資行動の結果、マレーシアやタイなどの組入銘柄の株価下落やアセアンの通貨が対円で下落したことから、基準価額は下落しました。

- ・当期の基準価額に影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

#### （上昇銘柄）

- ・DBS GROUP HOLDINGS LTD（シンガポール、銀行）：シンガポールの大手銀行で、東南アジアおよび香港、中国で幅広く事業を展開しています。シンガポールの景気回復に伴う業績拡大期待から株価が上昇しました。

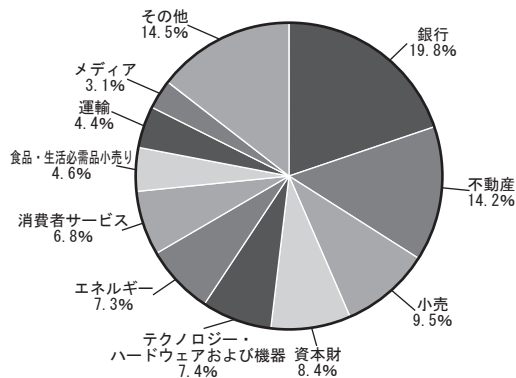
#### （下落銘柄）

- ・MY EG SERVICES BHD（マレーシア、ソフトウェア・サービス）：マレーシアにおいて運転免許の電子交付や物品・サービス税（GST）の徴収監視システムなどを手掛けています。2018年5月の総選挙でGST廃止を掲げる野党連合が勝利したことから、同社の業績悪化懸念が高まり、株価は下落しました。当面業績回復は見込みにくいと判断し、期中に全株売却しました。
- ・ECONPILE HOLDINGS BHD（マレーシア、資本財）：マレーシアの建設会社で特殊基礎・土木工事を手掛けています。同国の政権交代を受けてインフラに関わるプロジェクトの見直しが進む可能性が生じたことから、同社の業績悪化懸念が高まり、株価は下落しました。当面業績回復は見込みにくいと判断し、期中に全株売却しました。

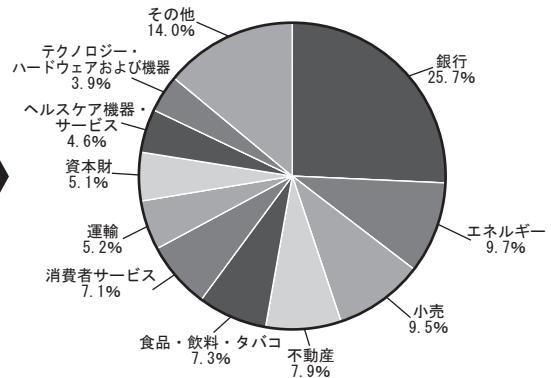
#### （ご参考）

### 組入上位10業種

期首（2017年12月11日）



期末（2018年6月11日）

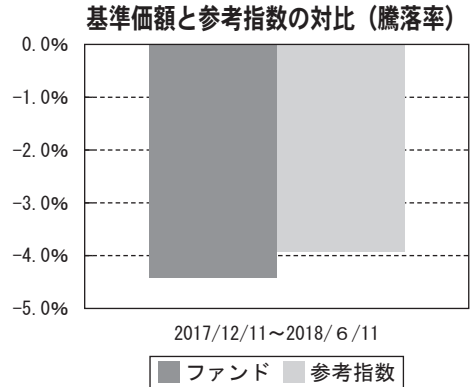


（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はMSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）です。



## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第7期
	2017年12月12日～2018年6月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,112

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### <アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）>

#### ◎今後の運用方針

- ・アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### <アセアン真成長株式マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・米国の金融政策や長期金利動向は、域内における投資家資金フローに影響を与えるため、引き続きアセアン株式相場の攪乱要因となる可能性が高いと考えます。また、米国による保護主義的な貿易政策の動きが貿易戦争を引き起こすリスクにも注意が必要です。しかしながら、アセアン地域の実体経済は、域内の政府主導のインフラ投資や中国をはじめとした世界経済の回復に歩調を合わせ、堅調に推移しています。アセアンの企業業績は、このような経済の拡大を背景に、着実に増益基調を継続すると見込んでおり、アセアンの株式市場もこれらを反映し、堅調に推移すると想定しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・このような見通しを背景に、安定して成長を遂げる企業群に着目したファンド運営を行う方針です。引き続き、消費やインフラ関連銘柄に加え、構造要因を背景に成長を続ける情報技術関連銘柄などを中心とした銘柄選別に注力し、運用方針に即した銘柄への投資を継続します。
- ・独自開発のスクリーニングモデルを活用しつつ、財務分析などの定量調査、企業訪問をはじめとする定性調査を実施し、コンセプトとしている将来にわたって安定して事業が成長すると見込まれる銘柄の選定を行うことで、中長期的な値上がり益の獲得をめざす方針です。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2017年12月12日～2018年6月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	51	0.502	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	( 45 )	( 0.446 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 3 )	( 0.028 )	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	( 0.028 )	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	31	0.304	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	( 31 )	( 0.304 )	
（ 新 株 予 約 権 証 券 ）	( 0 )	( 0.000 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	10	0.098	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 10 )	( 0.098 )	
（ 新 株 予 約 権 証 券 ）	( 0 )	( 0.000 )	
(d) そ の 他 費 用	18	0.180	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 18 )	( 0.179 )	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.001 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	110	1.084	
期中の平均基準価額は、10,091円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年12月12日～2018年6月11日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 3,723	千円 4,524	千口 9,433	千円 10,890

## ○株式売買比率

(2017年12月12日～2018年6月11日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	アセアン真成長株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,773,627千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,573,646千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.46	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月12日～2018年6月11日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）&gt;

該当事項はございません。

&lt;アセアン真成長株式マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 2,133	百万円 69	% 3.2	百万円 1,640	百万円 121	% 7.4

平均保有割合 0.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	76千円
うち利害関係人への支払額 (B)	5千円
(B) / (A)	6.6%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

### ○ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年12月12日～2018年6月11日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	—	—	10	当初設定時における取得

### ○ 組入資産の明細

(2018年6月11日現在)

#### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 21,016	千口 15,306	千円 17,505

### ○ 投資信託財産の構成

(2018年6月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
アセアン真成長株式マザーファンド	千円 17,505	% 97.0
コール・ローン等、その他	540	3.0
投資信託財産総額	18,045	100.0

(注) アセアン真成長株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(2,476,574千円)の投資信託財産総額(2,560,976千円)に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.41円	1 シンガポールドル=82.03円	1 マレーシアリングgit=27.47円	1 タイバーツ=3.41円
1 フィリピンペソ=2.07円	100インドネシアルピア=0.79円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年6月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,045,593
コール・ローン等	167,188
アセアン真成長株式マザーファンド(評価額)	17,505,904
未収入金	372,501
(B) 負債	497,329
未払解約金	370,055
未払信託報酬	126,896
その他未払費用	378
(C) 純資産総額(A-B)	17,548,264
元本	18,257,729
次期繰越損益金	△ 709,465
(D) 受益権総口数	18,257,729口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,611円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 24,909,330円  
 期中追加設定元本額 4,546,148円  
 期中一部解約元本額 11,197,749円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9611円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は709,465円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2017年12月12日～ 2018年6月11日
費用控除後の配当等収益額	126,139円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	1,091,094円
分配準備積立金額	2,640,239円
当ファンドの分配対象収益額	3,857,472円
1万口当たり収益分配対象額	2,112円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

## ○損益の状況（2017年12月12日～2018年6月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2
支払利息	△ 2
(B) 有価証券売買損益	△ 744,626
売買益	339,107
売買損	△1,083,733
(C) 信託報酬等	△ 127,274
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 871,902
(E) 前期繰越損益金	2,640,239
(F) 追加信託差損益金	△2,477,802
(配当等相当額)	( 1,085,057)
(売買損益相当額)	(△3,562,859)
(G) 計(D+E+F)	△ 709,465
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 709,465
追加信託差損益金	△2,477,802
(配当等相当額)	( 1,091,094)
(売買損益相当額)	(△3,568,896)
分配準備積立金	2,766,378
繰越損益金	△ 998,041

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
(2018年1月1日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

# アセアン真成長株式マザーファンド

## 《第8期》決算日2018年6月11日

[計算期間：2017年12月12日～2018年6月11日]

「アセアン真成長株式マザーファンド」は、6月11日に第8期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	アセアン諸国の株式等（預託証書（DR）を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。株式等への投資にあたっては、事業の安定性・成長性等に着目して銘柄選定を行います。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の香港現地法人であるMitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedから投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。
主要運用対象	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落中率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰落中率			
4期(2016年6月10日)	9,029	△ 2.5 %	75,652.23	△ 4.7 %	96.0 %	— %	1,127 百万円
5期(2016年12月12日)	9,490	5.1 %	79,757.44	5.4 %	97.1 %	— %	1,060
6期(2017年6月12日)	10,209	7.6 %	84,938.83	6.5 %	96.9 %	— %	779
7期(2017年12月11日)	11,891	16.5 %	93,813.53	10.4 %	96.1 %	— %	2,213
8期(2018年6月11日)	11,437	△ 3.8 %	90,129.77	△ 3.9 %	96.4 %	— %	2,557

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース) は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2017年12月11日	円	%		%	%	%
12月末	11,891	—	93,813.53	—	96.1	—
2018年1月末	12,143	2.1	96,115.54	2.5	94.0	—
2月末	12,443	4.6	98,426.66	4.9	97.6	—
3月末	12,401	4.3	96,482.68	2.8	95.2	—
4月末	11,749	△1.2	91,976.22	△2.0	94.7	—
5月末	11,813	△0.7	93,809.18	△0.0	94.6	—
6月末	11,250	△5.4	88,727.46	△5.4	95.3	—
(期 末) 2018年6月11日						
	11,437	△3.8	90,129.77	△3.9	96.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

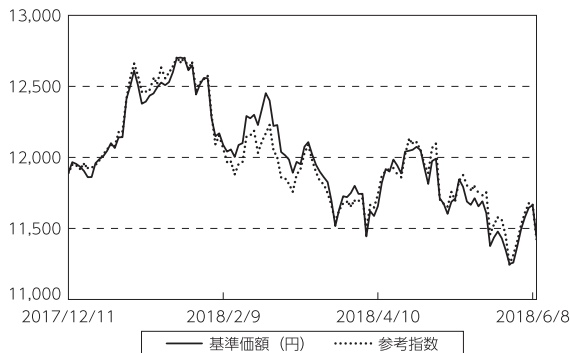
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.8%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎アセアン株式市況

- ・アセアン株式市場（ローカルベース）は期を試してみるとほぼ横ばいとなりました。期首から2018年1月下旬までは、米国や中国経済に対する楽観的な見方を背景に、アセアン株式市場は上昇しました。しかし、2月以降は、米金利上昇の加速が懸念されたことや、米国による鉄鋼・アルミニウムの輸入制限方針表明を受けた米中間の保護主義的な貿易政策が嫌気されたことなどを背景に投資家心理が悪化し、アセアン株式市場は軟調に推移しました。
- ・国別では、フィリピンとインドネシアの下落が大きくなりました。両国とも企業業績が伸び悩む懸念が高まったことに加え、経常赤字であることを背景に海外投資資金の流出が続いたため軟調な推移となりました。
- ・アセアンの通貨は、対円で下落しました。特に経常赤字国であるインドネシアルピアとフィリピンペソは円に対する下落が大きくなりました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・アセアン地域に関しては、人口動態や所得増加を背景に、構造的な個人消費の成長やインフラ投資の増加が期待される中、中長期的な業績成長性を重視した銘柄選定を行いました。また、個別銘柄の組入比率は業績成長の確信度も考慮し決定しました。
  - ・組入銘柄数は、概ね50銘柄程度で推移させました。期中に、業績減速懸念が高まった銘柄を売却し、業績の改善および拡大が期待できる銘柄への入替を実施しました。
  - ・個別に銘柄をみると、インドネシアやタイ、フィリピンにおいて内需拡大の恩恵を受けられる消費関連銘柄に重点的に投資を行いました。特にフィリピンの外食企業であるJOLLIBEE FOODS CORPは、安定的な需要拡大を背景に出店による持続的な成長が期待できると判断し、期首より高めの組入比率を維持しました。
  - ・上記投資行動の結果、マレーシアやタイなどの組入銘柄の株価下落やアセアンの通貨が対円で下落したことから、基準価額は下落しました。
  - ・当期の基準価額に影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

#### (上昇銘柄)

- ・DBS GROUP HOLDINGS LTD (シンガポール、銀行) : シンガポールの大手銀行で、東南アジアおよび香港、中国で幅広く事業を展開しています。シンガポールの景気回復に伴う業績拡大期待から株価が上昇しました。

#### (下落銘柄)

- ・MY EG SERVICES BHD (マレーシア、ソフトウェア・サービス) : マレーシアにおいて運転免許の電子交付や物品・サービス税 (GST) の徴収監視システムなどを手掛けています。2018年5月の総選挙でGST廃止を掲げる野党連合が勝利したことから、同社の業績悪化懸念が高まり、

株価は下落しました。当面業績回復は見込みにくいと判断し、期中に全株売却しました。

- ・ECONPILE HOLDINGS BHD (マレーシア、資本財) : マレーシアの建設会社で特殊基礎・土木工事を手掛けています。同国の政権交代を受けてインフラに関わるプロジェクトの見直しが進む可能性が生じたことから、同社の業績悪化懸念が高まり、株価は下落しました。当面業績回復は見込みにくいと判断し、期中に全株売却しました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見直し

- ・米国の金融政策や長期金利動向は、域内における投資家資金フローに影響を与えるため、引き続きアセアン株式相場の攪乱要因となる可能性が高いと考えます。また、米国による保護主義的な貿易政策の動きが貿易戦争を引き起こすリスクにも注意が必要です。しかしながら、アセアン地域の実体経済は、域内の政府主導のインフラ投資や中国をはじめとした世界経済の回復に歩調を合わせ、堅調に推移しています。アセアンの企業業績は、このような経済の拡大を背景に、着実に増益基調を継続すると見込んでおり、アセアンの株式市場もこれらを反映し、堅調に推移すると想定しています。

### ◎今後の運用方針

- ・このような見直しを背景に、安定して成長を遂げる企業群に着目したファンド運営を行う方針です。引き続き、消費やインフラ関連銘柄に加え、構造要因を背景に成長を続ける情報技術関連銘柄などを中心とした銘柄選別に注力し、運用方針に即した銘柄への投資を継続します。
- ・独自開発のスクリーニングモデルを活用しつつ、財務分析などの定量調査、企業訪問をはじめとする定性調査を実施し、コンセプトとしている将来にわたって安定して事業が成長すると見込まれる銘柄の選定を行うことで、中長期的な値上がり益の獲得をめざす方針です。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年12月12日～2018年6月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 新 株 予 約 権 証 券 )	円 39 (39) ( 0 )	% 0.327 (0.327) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 新 株 予 約 権 証 券 )	13 (13) ( 0 )	0.109 (0.109) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	22 (22)	0.181 (0.181)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	74	0.617	
期中の平均基準価額は、11,966円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年12月12日～2018年6月11日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	シンガポール	百株 16,284	千シンガポールドル 6,684	百株 19,370	千シンガポールドル 4,916
	マレーシア	39,018 ( 7,964)	千マレーシアリングギット 15,879 ( 218)	38,274 ( -)	千マレーシアリングギット 7,780 ( 266)
	タイ	117,977 ( 4,113)	千タイバーツ 162,849 ( -)	93,029	千タイバーツ 162,296
国	フィリピン	49,814	千フィリピンペソ 115,100	21,835	千フィリピンペソ 106,318
	インドネシア	145,894 ( 48,141)	千インドネシアルピア 43,105,171 ( -)	176,362	千インドネシアルピア 29,883,538
	ベトナム	-	千ベトナムドン -	750	千ベトナムドン 1,937,955

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	マレーシア	証券 -	千マレーシアリングギット -	証券 176,150	千マレーシアリングギット 63
		(176,150)	(47)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株主割当および権利行使等による増減分です。

## ○株式売買比率

(2017年12月12日～2018年6月11日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,773,627千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,573,646千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.46

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月12日～2018年6月11日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	百万円 2,133	百万円 69	3.2	百万円 1,640	百万円 121	7.4

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	8,845千円
うち利害関係人への支払額 (B)	545千円
(B) / (A)	6.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年6月11日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円		
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	1,015	1,896	2,385	195,655		銀行
CAPITALAND LTD	1,498	—	—	—		不動産
DBS GROUP HOLDINGS LTD	670	938	2,673	219,290		銀行
KEPPEL CORP LTD	1,171	1,574	1,193	97,869		資本財
VENTURE CORP LTD	245	—	—	—		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HAW PAR CORP LTD	—	316	424	34,812		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UOL GROUP LTD	—	492	399	32,811		不動産
GENTING SINGAPORE LTD	2,656	4,088	511	41,917		消費者サービス
SATS LTD	664	992	508	41,744		運輸
SINGAPORE O&G LTD	4,535	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス
VALUETRONICS HOLDINGS LTD	5,595	3,218	247	20,325		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
GUOCOLAND LTD	1,716	—	—	—		不動産
APAC REALTY LTD	3,047	3,126	276	22,693		不動産
HEALTH MANAGEMENT INTL LTD	—	3,086	192	15,821		ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	22,812	19,726	8,813	722,942	— <28.3%>
(マレーシア)			千マレーシアリンギット			
GENTING MALAYSIA BHD	2,697	4,610	2,355	64,711		消費者サービス
PUBLIC BANK BERHAD	—	1,322	3,252	89,335		銀行
BRITISH AMERICAN TOBACCO BHD	—	252	907	24,934		食品・飲料・タバコ
TOP GLOVE CORP BHD	—	936	1,020	28,025		ヘルスケア機器・サービス
PADINI HOLDINGS BERHAD	1,276	—	—	—		小売
AEON CO (M) BHD	—	3,732	888	24,399		小売
MY EG SERVICES BHD	1,955	—	—	—		ソフトウェア・サービス
HEINEKEN MALAYSIA BHD	—	404	933	25,636		食品・飲料・タバコ
QL RESOURCES BHD	3,014	2,546	1,443	39,662		食品・飲料・タバコ
ECONPILE HOLDINGS BHD	3,523	—	—	—		資本財
SCIENTEX BHD	2,102	866	601	16,509		素材
INARI AMERTRON BHD	3,593	8,136	1,912	52,523		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
V. S. INDUSTRY BERHAD	4,840	4,840	876	24,067		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HAI-O ENTERPRISE BHD	1,800	1,150	577	15,858		小売
SERBA DINAMIK HOLDINGS BHD	—	4,714	1,560	42,862		エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	24,801	33,509	16,327	448,526	— <17.5%>
(タイ)			千タイバート			
CP ALL PCL-NVDR	2,334	1,744	13,821	47,130		食品・生活必需品小売り
SIAM COMMERCIAL BANK P-NVDR	815	859	11,682	39,836		銀行
PTT PCL-NVDR	396	7,950	40,545	138,258		エネルギー
AIRPORTS OF THAILAND PC-NVDR	2,235	2,955	20,241	69,024		運輸
THAI OIL PCL-NVDR	1,434	—	—	—		エネルギー
BANGKOK CHAIN HOSPITAL-NVDR	6,225	5,328	8,471	28,887		ヘルスケア機器・サービス
AMATA CORP PUBLIC COLTD-NVDR	—	3,317	7,529	25,675		不動産
SOMBOON ADV TECH - NVDR	—	2,560	5,939	20,252		自動車・自動車部品
MK RESTAURANTS GROUP - NVDR	899	—	—	—		消費者サービス
RS PCL-NVDR	2,425	—	—	—		メディア
ROBINSON PCL-NVDR	585	—	—	—		小売

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(タイ)	百株	百株	千タイバーツ	千円		
BEAUTY COMMUNITY PCL-NVDR	4,911	2,332	3,824	13,041	小売	
CHULARAT HOSPITAL PCL-NVDR	—	50,500	11,817	40,295	ヘルスケア機器・サービス	
PYLON PCL-NVDR	4,073	—	—	—	資本財	
FORTH SMART SERVICE PCL-NVDR	5,180	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
TPI POLENE POWER PCL-NVDR	18,838	—	—	—	資本財	
PLAN B MEDIA PCL-NVDR	12,730	—	—	—	メディア	
MUANGTHAI CAPITAL PCL-NVDR	2,476	—	—	—	各種金融	
B GRIMM POWER PCL-NVDR	—	3,789	9,131	31,138	公益事業	
HUMANICA PCL-NVDR	—	6,240	7,488	25,534	ソフトウェア・サービス	
TAOKAENOI FOOD & MARKETING-R	—	7,043	13,381	45,631	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	65,556 15	94,617 12	153,873 —	524,708 <20.5%>	
(フィリピン)			千フィリピンペソ			
SM PRIME HOLDINGS INC	3,254	4,818	18,163	37,599	不動産	
AYALA LAND INC	9,557	4,541	18,527	38,351	不動産	
JOLLIBEE FOODS CORP	913	1,152	32,733	67,759	消費者サービス	
BDO UNIBANK INC	953	—	—	—	銀行	
ROBINSONS RETAIL HOLDINGS IN	1,752	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP	—	6,146	13,828	28,624	資本財	
WILCON DEPOT INC	—	24,400	29,182	60,407	小売	
MACROASIA CORPORATION	—	3,351	8,494	17,584	運輸	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	16,430 5	44,408 6	120,930 —	250,326 <9.8%>	
(インドネシア)			千インドネシアルピア			
RAMAYANA LESTARI SENTOSA PT	—	33,085	4,929,665	38,944	小売	
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	11,857	19,000	6,859,000	54,186	電気通信サービス	
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	—	11,357	7,836,330	61,907	自動車・自動車部品	
GUDANG GARAM TBK PT	—	806	5,662,150	44,730	食品・飲料・タバコ	
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	35,672	36,411	11,433,054	90,321	銀行	
UNITED TRACTORS TBK PT	1,733	2,098	7,301,040	57,678	エネルギー	
UNILEVER INDONESIA TBK PT	1,249	1,488	6,755,520	53,368	家庭用品・パーソナル用品	
PAKUWON JATI TBK PT	120,322	82,595	4,873,105	38,497	不動産	
MITRA ADIPERKASA TBK PT	9,957	53,490	4,733,865	37,397	小売	
CIPUTRA DEVELOPMENT TBK PT	22,142	—	—	—	不動産	
ACE HARDWARE INDONESIA	52,145	40,251	5,474,136	43,245	小売	
SURYA CITRA MEDIA PT TBK	7,831	—	—	—	メディア	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	262,908 9	280,581 10	65,857,865 —	520,277 <20.3%>	
(ベトナム)			千ベトナムドン			
GEMADEPT CORP	750	—	—	—	運輸	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	750 1	— —	— —	— <-%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	393,257 50	472,841 50	— —	2,466,781 <96.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2018年6月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,466,781	% 96.3
コール・ローン等、その他	94,195	3.7
投資信託財産総額	2,560,976	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (2,476,574千円) の投資信託財産総額 (2,560,976千円) に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.41円	1 シンガポールドル=82.03円	1 マレーシアリングギット=27.47円	1 タイバーツ=3.41円
1 フィリピンペソ=2.07円	100インドネシアルピア=0.79円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年6月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,566,833,766 円
コール・ローン等	90,637,230
株式(評価額)	2,466,781,461
未収入金	5,887,314
未収配当金	3,527,761
(B) 負債	9,047,757
未払金	5,857,255
未払解約金	3,190,303
未払利息	199
(C) 純資産総額(A-B)	2,557,786,009
元本	2,236,403,733
次期繰越損益金	321,382,276
(D) 受益権総口数	2,236,403,733口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,437円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,861,853,068円  
 期中追加設定元本額 613,909,859円  
 期中一部解約元本額 239,359,194円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1437円です。

- ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 アセアン真成長株式ファンド 2,221,097,355円  
 アセアン真成長株式ファンド(ラップ向け) 15,306,378円  
 合計 2,236,403,733円

## 【お知らせ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)

## ○損益の状況 (2017年12月12日～2018年6月11日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	40,557,684 円
受取配当金	40,588,345
受取利息	265
支払利息	△ 30,926
(B) 有価証券売買損益	△153,179,811
売買益	147,917,562
売買損	△301,097,373
(C) 保管費用等	△ 4,906,547
(D) 当期損益金(A+B+C)	△117,528,674
(E) 前期繰越損益金	352,075,466
(F) 追加信託差損益金	133,277,196
(G) 解約差損益金	△ 46,441,712
(H) 計(D+E+F+G)	321,382,276
次期繰越損益金(H)	321,382,276

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。